

優しく強い子に！



http://www.minamih.net/
20・1・23(木)
南NEWS no 123



アネモネが咲きました

午後練後の会話

1月11日(土)の4年生招待。1勝3敗という成績でしたが、何点取られても、ほぼ全員がドリブルで抜いていこうという強いモチベーションを持ってチャレンジしていたことに感動しました。

中でも、右のサイドバック：マサムネ君は運動量・フィジカルの強さも抜群で、4つのドリブルの技を駆使して、青梅戦では相手のゴールキックをカットしてドリブルシュートを決めていました。

午後練には必ず参加して、一生懸命練習しています。終わり頃になるといつもお母さんと弟・清正君が迎えに来てくれます。ある日、お母さんが

「いつもNEWSを有難うございます。子ども達のGAMBAりの様子がよく分かります」

と言ってくれました。私は「子ども達がGAMBAって、その様子を活写するレポートをコーチのみなさんが創ってくれるからNEWSができるのです」とお話ししました。

b y 南の安版万



解説者の言葉

1月9日(木)

…U-23アジア選手権 日本VSサウジアラビア…

○森岡氏 元日本代表DFキャプテン

- ・どのようなライン設定で、どこからボールを奪いに行くのか。
- ・試合の立ち上がりには、相手のDFラインの裏に出すことによってゲームをコーンとロールすることができる。
- ・相手に背後があると想わせて中盤を空けさせる。
- ・ボールホルダーにプレッシャーがかかっている時にアクション。
- ・DFラインの裏を狙うことによって、DFラインを下げさせる。

- ・攻撃の時にサイドが高いポジションをとると、相手の中盤は下がらざるを得ない。
- ・立ち上がりは何本か裏に入れたことが効果的だった。
- ・どれくらい攻撃の回数を増やせるかが試合の結果を左右する。
- ・ドリブルで仕掛けることによってセットプレーがとれる。
- ・相手のラインが揃っているときはバックパスが有効。ラインを上げてきたら間を通す。

※アクションで走るか、リアクションで走るか！！

- ・子どもたちに言っています。
- ・アタッキングサードでボックス内に入れることを増やしたい。
- ・シュートを増やす。
- ・DFにとって前へ前へと仕掛けられることは嫌なことなので、どんどん仕掛けたい。
- ・リスクマネジメント、カウンターに気をつける。

○福西氏 元日本代表MF

- ・シャドウにボールがどれだけ集まるかが大事。
- ・セカンドボールをどれだけ拾えるかで試合の様相が変わってくる。
- ・1対1で、コンビネーションで、どう相手を上回れるか。
- ・DFラインはコンパクトにチャレンジカバーをすることが大事。
- ・DFはカバーを徹底したい。

以上、TVで観戦しながらメモを取りました。参考にしてくれたら嬉しいです。



《大会名》新春フットサル大会

《日時・会場》 2020/1/5(日) 富士森体育館本館

《めあて》 試合を楽しむ、技を使う、自分たちで作戦を考える

《試合結果》

南八ボ一ズ1-1FC FORTE 1vs1(12分ハーフ) PK3vs2勝

得点 ミツキ君 《試合の様相》

2020年最初の試合はフットサル、男子チームと女子チームで参加しました。今回は、常交代にダイヤモンドを意識したシステムで動く、ただの指し作戦を考へて、自分たちで攻撃の相手パスを鋭く挑み読みました。トシオ君からパスを受けられたキーパーが2人のタキミ君はサイ君はセクナ君はスピードを意識してしましましたが、PKは全員が落ち着いて決めた。勝利を収めました。

《コーチ所感》

選手に任せた今回の対戦では、攻守の切り替わりが早い分気が抜けず、ベンチも含めて全員が集中できていたからなのか、

声がよく出て良い雰囲気でした。足裏を使う細かい技はこれから慣れていけば大丈夫。

まずは一番のめあてだった試合を楽しむ雰囲気は、初戦から全員が存分味わっていたようです。

たくさんの思い出を作れるよう、できるだけ長く勝ち続けてももっとも楽しんでもうね。

b y 田邊コーチ

自分たちで作戦を考えるフットサル、素晴らしいですね！！思いっきり楽しんでほしいです。

b y 南の安版万

